

2026 年 1 月 20 日

食のコミュニケーション円卓会議主催

第 161 回（2 月）オンライン学習会のご案内

日 時： 2026 年 2 月 18 日（水） 19:00～20:30

テーマ： 食品照射の工程管理とその伝え方

—食品照射実践マニュアル（IAEA TRS 481 邦訳）を題材に

発表者： 小林 泰彦 氏（元 QST 高崎研）

等々力 節子 氏（農研機構 食品研究部門）

* 外部から参加ご希望の方は、食のコミュニケーション円卓会議 HP
<https://food-entaku.org/> 「問い合わせ」からお申込みください。

<お話の概要>

食品照射は、放射線を照射して殺菌や殺虫、発芽抑制などを行う物理的な食品処理技術です。これまで「食のコミュニケーション円卓会議」では、体験実験も含めた様々な学習を続けてきました。その中で、加熱調理や冷蔵・冷凍などの日常的な食品加工技術とは異なり、放射線照射という全くなじみのない処理工程を具体的に想像し難いことが、一般の消費者や食品事業者、行政官などの間での客観的な議論の妨げになっているように感じていました。

IAEA では、食品照射の処理工程について、具体的にどのように管理することによって必要な放射線量を安全かつ確実に食品に与えて目的が達成されるのかという“グッドプラクティス”を解説した技術文書を作成しており、最近、その邦訳が公開されました。

食品照射実践マニュアル ～食品衛生や植物検疫などへの適正な利用のために～

そこで、翻訳に携わった専門家として、この邦訳文書を利用して、食品照射の工程管理についての一般向けの解説を試みたいと思います。参加者からも率直な疑問を寄せていただき、それに対するお答えを探ることで、今後のリスクコミュニケーションにも役立てたいと考えています。

< 今後の予定 >

日 時	学習会・講師	場所(開催方法)
3 月 4 日(水)	(仮)食品表示について 天明 英之氏	オンライン
3 月 26 日(木)	(仮) 家庭科・家庭科教育について 千葉 悦子氏	オンライン